

新生活には危険がいっぱい!

～消費者トラブルにご注意を～

春は進学や就職など家族から離れて新生活をはじめの人が多くなります。特に社会経験が少なく、契約知識も十分でない若者は、消費者トラブルに巻き込まれる危険性が高く、注意が必要です。

奈良
くらし手帳

生活に密着した
くらしに役立つ情報を
わかりやすくご紹介。

vol.
24

消費者トラブルの事例

- 訪問販売・電話勧誘販売
しつこく迫られ必要のないものを購入してしまった。
- ワンクリック請求
スマホを操作中にアダルトサイトの登録画面が表示され、身に覚えのない高額請求をされた。
- マルチ商法(連鎖販売取引)
先輩から「簡単に稼げる話」をすすめられ、販売組織の会員になってしまった。

被害にあわないために

- 申し込みをする前に、契約内容を良く理解しましたか?
- 支払い方法や金額に納得しましたか?
- 急かされても即決せずに、迷ったら相談しましょう。
- 個人情報やむやみに教えず、怪しい請求には応じないようにしましょう。
- 簡単なもうけ話はありません。契約はよく考えましょう。

- ★少しでもおかしいと思ったら一人で悩まず、家族や信頼できる人に相談しましょう。
- ★困ったときや心配な場合は消費生活相談窓口へ。



消費者ホットライン **188** (局番なし)

最寄りの消費生活相談窓口をご案内します。

問 県消費生活センター

☎0742-36-0931 FAX0742-32-2686

🌐www.pref.nara.jp/18502.htm

県消費生活センター中南和相談所

☎0745-22-0931 FAX0745-22-4999

ならびと vol. 3

奈良県の地域医療に寄り添いながら...

奈良県の地域医療に大きく貢献されたとして
第2回 奈良のお薬師さん大賞で表彰された
武田以知郎さんに、地域医療への思いを伺いました。

医師 **武田 以知郎**さん

御所市出身・広陵町在住
(公社)地域医療振興協会
明日香村国民健康保険診療所所長

地域に頼られる「赤ひげ先生」のような医者になりたいと思い、自治医科大学を志し、卒業後は天川村や大塔村(現五條市大塔町)などのへき地診療所に赴任しました。へき地では患者さんとの距離感が近く、「患者さんの生活や物語に寄り添う医療」が自然と身に付きました。今もこの考え方を大切にしています。

県立五條病院に勤務していたときには、へき地医療支援部を立ち上げ、へき地診療所に勤務する医師の支援体制や地域医療連携体制の構築に尽くしました。その後、南奈良総合医療センターが新設され、当時の理想が形になりつつあり嬉しく思います。

特に最近、「地域医療」は地域包括ケアの仕組みの中でも重要性が増し、この原動力となるであろう「総合診療医」が注目されるようになってきました。

私も総合診療医として、まずは明日香村から地域包括ケアの礎を築き、地域医療の輪をつなぎ育てられるよう頑張っていきます。

